

# NPO 法人 DGC 基礎研究所 2013 年 5 月期事業報告書

I 事業期間 2012 年 6 月 1 日 ～ 2013 年 5 月 31 日

## II 事業の成果

### 1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進するとともに、国土交通省や自治体等への技術の普及を図る活動を行っています。2012 年 6 月には新



特許証「枝葉の資源化方法」

技術「枝葉の資源化方法」が特許として認められました。また、国道 43 号道路緑化樹の剪定枝を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の事務局や会員のほか公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。なお、大阪府吹田市において「剪定枝葉の地産地消」の事業化が内定していましたが、その後の政治的な変化により延期された状態が続いています。当法人は今後も粘り強く各所へ働きかけを行います。

[参考] 有限会社マッテル <http://matteru.com/>

### 2. 高等独文解釈のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。それから約 20 年を経た現在では、本ではなくインターネットを利用して発信することができます。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待して、ウェブサイトにて 124 題を無料公開しています。

### 3. とよなかサイエンス BAR

「サイエンスカフェ」とは、学術講演会やシンポジウムなどの専門的な催しではなく、カフェのような雰囲気の中で科学について気軽に語り合う場を創ろうという試みです。日本でも様々な場が設けられていますが、専門家による一方的な講演に陥りがちで、会場に居合わせた誰もが「気軽に語り合う」までにはなかなか達していないようです。「とよなかサイエンス BAR」は、お酒やおつまみを楽しみながらもっと気軽に参加することを期待して、とよなか

起業・チャレンジセンターに集う有志により創設されました。



「第2回とよなかサイエンスBAR」の様子

当法人の会員（事務局長）がその第2回（2012年8月31日）に「テレビじゃ言わない食の話～危険？安全？リスクって何？～」と題して講演し、「食」にまつわる様々なリスクについて語り合いました。なお、翌期中に開催の第13回（2013年7月26日）、第14回（同年8月30日）、第16回（同年10月25日）においても当法人の会員が講師を務めます。

[参考] とよなか起業・チャレンジセンター活動報告

<http://toyonakaincu.blog47.fc2.com/blog-entry-776.html>

#### 4. 科学の普及啓発に資する図書の寄贈

世間には科学的とは言い難い情報が氾濫しています。話題がセンセーショナルなものに偏っているだけでなく、その情報自体が間違っていることも多々あります。マスメディアの流す「食」に関する情報も例外ではなく、それらが一般消費者の行動に少なからず影響しています。



川島博之著「食料自給率の罠」

川島博之著「食料自給率の罠」（朝日新聞出版）は一般向けでありながら、日本の食料事情について基礎データをもとに中立的な立場から科学的に考察されている良書です。当法人は豊中・吹田・箕面3市の公立図書館へこの著書を寄贈しました。一人でも多くの方々に本書が読まれ、偏った情報に惑わされることのないよう期待しています。

[参考] 朝日新聞出版 [http://publications.asahi.com/ecs/detail/?item\\_id=11808](http://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=11808)

#### 5. 研究者集団につながる窓口の運営 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

### III 事業の実施状況

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援

【実施場所】 京都府、大阪府、インターネット

【実施日時】 随時

【対象者】 参加希望者

【収入】 43,500円

【支出】 132,424円

(2) 科学普及啓発事業（一般会計）

【内 容】 「第2回とよなかサイエンス BAR」における依頼講演  
【実施場所】 とよなか起業・チャレンジセンター（豊中市蛍池中町3-9-20）  
【実施期間】 2012年8月31日  
【対 象 者】 好奇心旺盛な大人の方  
【収 入】 20,000円  
【支 出】 2,000円

【内 容】 科学の普及啓発に資する図書の寄贈  
【実施場所】 豊中市、吹田市、箕面市  
【実施日時】 2013年5月  
【対 象 者】 上記自治体の公立図書館  
【収 入】 0円  
【支 出】 3,455円

IV 社員総会の開催状況

1. 定時総会

【開催日時】 2012年8月25日、16時～17時50分  
【開催場所】 当法人事務局（大阪府豊中市曾根東町1-5-13）  
【出席者数】 正会員18名（正会員総数30名）  
【議 案】 第1号議案 2012年5月期事業報告及び活動決算の承認の件  
第2号議案 定款の一部変更の承認の件  
【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。  
第2号議案は、満場異議なく原案通り承認可決した。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2012年8月6日～10日  
【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）  
【出席者数】 理事4名（理事総数4名）、監事1名  
【議 案】 事業報告書案および決算報告書案の承認の件  
【審議結果】 上記2案のいずれについても、満場異議なく原案通り承認した。

【開催日時】 2012年8月8日  
【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）  
【出席者数】 理事4名（理事総数4名）、監事1名  
【議 案】 定款の一部変更案の承認の件  
【審議結果】 満場異議なく原案通り承認した。

以上